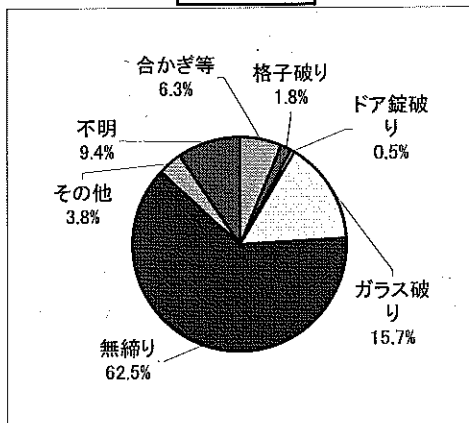


## 住宅対象侵入盗の推移

	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年9月 月末現在
空き巣	1109	1157	911	663	732	582	539	492	333
忍込み	312	238	101	195	196	200	111	80	45
居空き	86	71	69	55	57	53	49	33	17
計	1507	1466	1081	913	985	835	699	605	395

県内における平成23年9月末の刑法犯認知件数は7,923件(前年同期比576件減少)で、このうち窃盗犯については、6,504件(刑法犯全体の82.1パーセント)でした。この窃盗犯のうち、侵入盗が775件で、侵入盗の中でも住宅対象侵入盗(空き巣、忍込み、居空き)が395件(前年同期比57件減少)であり、侵入盗全体の50.9パーセントを占めています。

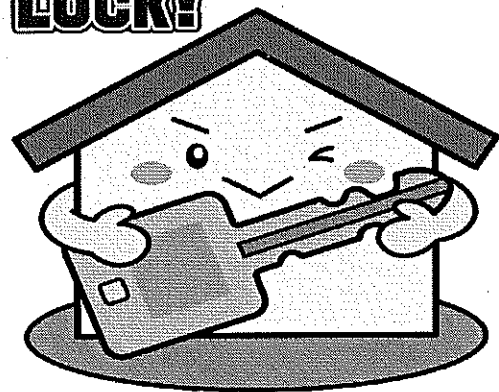
### 侵入手段



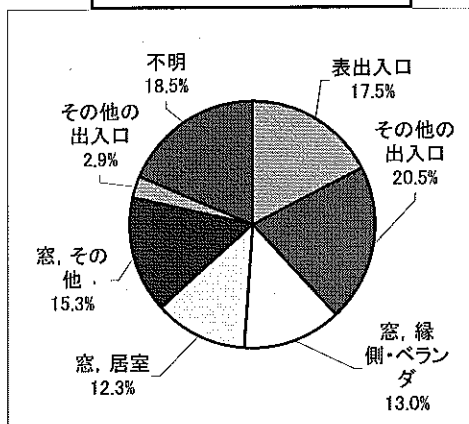
住宅対象侵入盗における侵入手段は、無締りが247件(62.5パーセント)、ガラス破りが62件(15.7パーセント)でした。

県民の鍵かけに対する重要性の認識が低く、鍵かけに対する広報啓発活動の強化方をお願いします。

**Lock!**



### 侵入口(一戸建て住宅)



一戸建住宅(308戸)被害について侵入口別にみると、表出入口と、その他の出入口(勝手口等)を合わせて38パーセント、窓・縁側と窓・居室を合わせて25.3パーセントとなっています。

さらに表出入口(54件)についてみると、無締りが44件(81.5パーセント)でした。

防犯アドバイザー(県警察が委嘱している防犯設備士、鍵取扱業者など7人)の皆さんの協力を頂いて、住宅対象侵入盗対策のための防犯教室を今年14回開催(10月25日現在)し、参加者に対して住宅対象侵入盗に対する防犯意識を再認識させることができました。これからも住宅対象侵入盗の抑止に向け、防犯教室等を開催して参りますのでよろしくお願いいたします。